

県本部第33回  
機関紙コンクール  
締切：2022年8月31日(水)必着  
詳細は7月25日付  
自治労福島発第511号参照

# 自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:jichou@jichiro-fukushima.or.jp

第833号  
2022年(令和4年)  
7月29日  
福島市荒町1-21  
自治労福島県本部  
発行人 澤田 精一



## 県本部 第105回 中央委員会

# 人勧期闘争に結集を!

自治労福島県本部は7月15日、福島市「とうほう・みんなの文化センター」において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策をほかりながら第105回中央委員会を開催した。県内の各単組から88人(内女性11人)の中央委員が出席し、春闘総括、当面の闘争等についての方針を決定した。

第105回中央委員会 選出について先議し、賛成多数で可決。昼休みに飯塚中央委員、県職連合郡山支部田中央委員が選出され始められた。

### 報告・承認事項

澤田中央執行委員長から「参議院選挙における各単組での奮闘に敬意と感謝を申し上げる。春闘は極めて低調だった。コロナ禍でも交渉等は可能であるため、引き続き人勧期に結集し、確定闘争に繋げたい。労働運動の基本は単組運動であり、組合員の信頼は日常の活動によって得られる。中央委員の皆さんには、県本部分針に対する活発な意見反映をお願いする。」とあいさつがあった。

### 議案

議案については、本部第96回定期大会の代議員に和知調査部長が「単組役員だけではなく、組合員それぞれが職場の課題等を把握し、具体的な要求へとつなげていくことが単組活動の活性化になる。基本に立ち返り、改めて労務関係ルール等の確立について取り組みを強化する必要がある。」



ガンパロー三唱で人勧期の取り組みを誓う参加者

田村広域行政組合解散に伴う職員の処遇について、希望に応じ各自治体

会津若松市では、定年延長について、当局から条例改正は9月議会提案をめぐるとしつつも、県の意向に準拠すると言われている。県の意向が見えぬまま、部分が多いため、県本部には情報収集と全体的な速やかな集約と全体化を要請する。また、来年行われる予定の会津若松市議会選挙においては、

新採職員と同様定年延長者の組織化も重要な課題となる。県本部の考え、方針について聞き取りたい。会計年度任用職員への勤勉手当については、人事院、県人事委員会に対する取り組みを強化し、寒冷地手当の増額についても具体的に行動をお願いする。共済については、十分な保障内容となっているのか分析・検証をし、補強提案をお願いする。また、会計年度任用職員については、退

定年延長について当局に対し質問書を渡し、事前協議を申し入れ続け、8月3日ようやく協議を行うこととなった。当局は10月を目途に協議を進め、11月に妥結、12月議会に上程という考えを示している。60歳以降も安心して働き続けられる職場を作るため、県本部・各総支部と連携して取り組みを進めたい。役割の担い手不足や新採職

執行部答弁  
各委員からの発言を受け、澤田中央執行委員長が答弁した。

④ いわき市職労  
緑川中央委員  
職者団体生命共済の退職者加入を要件から外すべきと考える。

⑤ 喜多方市職労  
五十嵐中央委員  
県本部は主体的に取組を進め、各単組への指導・尽力をお願いする。会計年度任用職員については、一時金が出ていない。情報共有をし、単組の取り組みに支援をお願いする。

⑥ 県職連合  
大内中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

⑦ 福島市職労  
島貫中央委員  
議案に対し、7人の中央委員から発言があった。

⑧ 福島市職労  
島貫中央委員  
5月に人員確保、定年延長制度、メンタルヘルス対策、各補助機関からの要望について団体交渉を行い、前進回答を引き出した。特に、定年延長制度については、十分労使協議を行うことを確認し、賃金・労働条件など交渉していく予定となっている。これらの取り組みを通じ、組織強化へつなげたい。県本部は、引き続き単組の取り組みへの支援をお願いする。

⑨ 県職連合  
大内中央委員  
コロナ禍で仕事量が増えた上、家族等に新型コロナウイルス陽性者が出現し、深刻な人手不足を引き起こしている。看護師等だけでなく検査技師も不足し、医療・保健衛生職場の人員確保は喫緊の課題である。県本部も主体的に取組を進め、各単組への指導・尽力をお願いする。会計年度任用職員については、一時金が出ていない。情報共有をし、単組の取り組みに支援をお願いする。

⑩ 喜多方市職労  
五十嵐中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

⑪ 県職連合  
大内中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

⑫ 喜多方市職労  
五十嵐中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

⑬ 県職連合  
大内中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

⑭ 喜多方市職労  
五十嵐中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

2022年度一般経過報告、2022年度一般会計・特別会計中間決算報告、2022年度中間会計監査報告のいずれも質疑がなく、承認された。

議案提案では、はじめに和知調査部長が「単組役員だけではなく、組合員それぞれが職場の課題等を把握し、具体的な要求へとつなげていくことが単組活動の活性化になる。基本に立ち返り、改めて労務関係ルール等の確立について取り組みを強化する必要がある。」

議案に対し、7人の中央委員から発言があった。

5月に人員確保、定年延長制度、メンタルヘルス対策、各補助機関からの要望について団体交渉を行い、前進回答を引き出した。特に、定年延長制度については、十分労使協議を行うことを確認し、賃金・労働条件など交渉していく予定となっている。これらの取り組みを通じ、組織強化へつなげたい。県本部は、引き続き単組の取り組みへの支援をお願いする。

コロナ禍で仕事量が増えた上、家族等に新型コロナウイルス陽性者が出現し、深刻な人手不足を引き起こしている。看護師等だけでなく検査技師も不足し、医療・保健衛生職場の人員確保は喫緊の課題である。県本部も主体的に取組を進め、各単組への指導・尽力をお願いする。会計年度任用職員については、一時金が出ていない。情報共有をし、単組の取り組みに支援をお願いする。

定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

執行部答弁  
各委員からの発言を受け、澤田中央執行委員長が答弁した。

④ いわき市職労  
緑川中央委員  
職者団体生命共済の退職者加入を要件から外すべきと考える。

⑤ 喜多方市職労  
五十嵐中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

⑥ 県職連合  
大内中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

2022年度一般経過報告、2022年度一般会計・特別会計中間決算報告、2022年度中間会計監査報告のいずれも質疑がなく、承認された。

議案提案では、はじめに和知調査部長が「単組役員だけではなく、組合員それぞれが職場の課題等を把握し、具体的な要求へとつなげていくことが単組活動の活性化になる。基本に立ち返り、改めて労務関係ルール等の確立について取り組みを強化する必要がある。」

議案に対し、7人の中央委員から発言があった。

5月に人員確保、定年延長制度、メンタルヘルス対策、各補助機関からの要望について団体交渉を行い、前進回答を引き出した。特に、定年延長制度については、十分労使協議を行うことを確認し、賃金・労働条件など交渉していく予定となっている。これらの取り組みを通じ、組織強化へつなげたい。県本部は、引き続き単組の取り組みへの支援をお願いする。

コロナ禍で仕事量が増えた上、家族等に新型コロナウイルス陽性者が出現し、深刻な人手不足を引き起こしている。看護師等だけでなく検査技師も不足し、医療・保健衛生職場の人員確保は喫緊の課題である。県本部も主体的に取組を進め、各単組への指導・尽力をお願いする。会計年度任用職員については、一時金が出ていない。情報共有をし、単組の取り組みに支援をお願いする。

定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

執行部答弁  
各委員からの発言を受け、澤田中央執行委員長が答弁した。

④ いわき市職労  
緑川中央委員  
職者団体生命共済の退職者加入を要件から外すべきと考える。

⑤ 喜多方市職労  
五十嵐中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

⑥ 県職連合  
大内中央委員  
定年延長について、情報集約・全体化に努める。各単組の取り組み、成果について情報の集約へご協力願います。組織内または協力議員については、再選へ向け全力で取り組む。組織内または協力議員については、全自治体において引き続き検討・確保をお願いし、支援も行っていきます。

自治労  
作品募集集中!  
あなたの思いをカタチに  
自治労コンクール  
第29回自治労文芸賞  
散文・詩歌等  
第30回写真コンクール  
2022まんが大笑  
テーマ「マスク」  
詳しくはこちらから  
自治労ホームページをご覧ください

審議された議案  
議案第1号 2022春闘総括(案)  
議案第2号 当面の闘争方針(案)  
議案第3号 2022年度一般会計・特別会計補正予算(案)  
議案第4号 2023年度暫定予算(案)  
議案第5号 澤田中央執行委員長の連合福島会長就任に伴う役員への任務対応と県本部中央執行委員長の選出に向けて(案)  
議案第6号 自治労第96回定期大会代議員の選出について(案)  
その他

2022年  
8/31 水  
締切 当日消印有効

2022

総支部新体制スタート

県職連合



中央執行委員長 澤村 英行

【中央執行委員長】 澤村 英行(直属支部)

【副中央執行委員長】 佐藤 寛喜(南会津支部) 柳田 敦彦(北会津支部) 半沢 雄助(医大支部)

【書記長】 大内 敦夫(福島支部)

【書記次長】 齊藤 年明(直属支部)

【監査委員】 田中 道也(白河支部) 坂内 勇太(南会津支部) 板倉 成子(相馬支部)

県北総支部



総支部長 丹野 隆央

【総支部長】 丹野 隆央(福島市職労)

【副総支部長】 村松 和(二本松市職労) 高橋 航(川俣町職労) 鈴木 貴士(県職連合福島)

【事務局長】 井上 和弥(福島市職労)

【事務局次長】 藁谷 明洋(伊達市職労) 武藤 正昭(本宮市職労) 藤倉 佳嗣(桑折町職労)

【会計監査】 遠藤 卓弥(大玉村職労) 高橋 和弘(市町村共済職労)

県南総支部



総支部長 小針 信之

【総支部長】 小針 信之(玉川村職労)

【副総支部長】 和知 聡(県職連合白河支部) 日野 泰治(白河市職労) 清野 昭雄(小野町職労)

【事務局長】 草野 文恵(須賀川市職労)

【事務局次長】 中村 裕輔(須賀川市職労) 高内 慎介(西郷村職労)

【会計監査】 近藤 敏之(矢吹町職労)

会津総支部



総支部長 高橋 淳

【総支部長】 高橋 淳(喜多方市職労)

【副総支部長】 福地 努(会津若松市職労) 本名 隆二(金山町職労) 舟木 浩隆(南会津町職労) 川村 美彦(県職連合北会津)

【事務局長】 服部 孝徳(会津坂下町職労)

【事務局次長】 宇梶 陸宏(下郷町職労)

【会計監査】 佐藤 義樹(南会津環境労) 福田 和洋(会津土地改良職労)

浜総支部



総支部長 齊藤 浩司

【総支部長】 齊藤 浩司(相馬市職労)

【副総支部長】 荒 雄一(新地町職労) 鯨岡 晋悟(広野町職労) 新妻 浩(いわき市職連合) 坂本 利彦(県職連合浜)

【事務局長】 庄司 稔(飯館村職労)

【事務局次長】 中野 寿一(いわき市職連合)

【会計監査】 森 晋弘(相馬水道職労) 佐藤 記央(双葉水道職労)

2022年度 各総支部連絡先

県職連合

【住所】 福島市杉妻町2-16 県職員会館内

【電話】 024-523-1306

【FAX】 024-523-1309

【E-mail】 f-kenshokuro@fukushima-pref.com

県北総支部

【住所】 福島市五老内町3-1 福島市役所内

【電話】 024-533-7330

【FAX】 024-533-5889

【E-mail】 jichirof@juno.ocn.ne.jp

県南総支部

【住所】 須賀川市八幡町135 須賀川市役所内

【電話】 0248-75-3400

【FAX】 0248-75-4449

【E-mail】 kennankyokucho@gmail.com

会津総支部

【住所】 会津若松市西栄町7-9 会津労働福祉会館

【電話】 0242-27-8550

【FAX】 0242-27-8551

【E-mail】 jitirou.aizu@gmail.com

浜総支部

【住所】 南相馬市原町区西町一丁目48 高倉店舗A

【電話】 0244-24-1191

【FAX】 0244-24-1191

【E-mail】 info@jichiro-hamasou.gr.jp

いわき連覇 富岡は初の東北地連大会へ

第41回全日本自治体職員軟式野球 福島県大会

第41回自治体職員軟式野球福島県大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年、2021年と中止になったことから、3年ぶりの開催となった。6月15日、16日に喜多方市「押切川公園野球場」、会津坂下町「B M

野球場」の2会場で開催した同大会には、前回大会優勝のいわき市職連合チーム、準優勝の福島市職労チーム、各総支部を勝ち抜いた7チームの計9チームが出場した。15日は強い風が終始吹き、16日は30度近くまで気温が上がる、コンディ

ションが良いとはいえない中での試合だったが、初戦から白熱した試合が展開された。決勝戦はいわき市職連合チーム対富岡町職労チームという浜総支部対決となった。試合は、富岡町職労が4回まで3対1とリードする展開。5

回裏にいわき市職連合は3点を返し逆転したが、直後の6回表に富岡町職労も1点を返して試合を振り出しに戻した。同点で迎えた最終回、いわき市職連合は前回王者の底力で4対5とサヨナラ勝ちし、2年連続優勝の栄光をつかんだ。



優勝したいわき市職連合チーム



準優勝の富岡町職労チーム



敢闘賞 富岡町職労 小山和樹選手



最優秀選手賞 いわき市職連合 小鍛冶勇斗選手

